

みなみへまだ地区 公民館だより

題字 山根美幸

大盛況!公民館祭り



作品に見入る来館者

素晴らしい
個人作品の数々



婦人会作品



今年も頑張った公民館役員方々
お疲れ様でした! 早々に完売御礼



毎年大好評☆
保育園児作品



各地区サロン作品



生花教室作品

残念!台風襲来の為中止 南山田地区民大運動会



31年4月より
〔名称変更〕
南山田公民館
南山田
交流センター

☆中止となった大運動会

9月30日(日)実施予定の第34回地区民大運動会は、台風襲来の為、中止を決定。

事前の準備をお手伝い頂きました、地区関係者及びスタッフの皆様方、ご協力誠に、有難うございました。

31年度の大運動会は、小規模多機能自治(学習部会)にて審議決定。地区活性化や地域の絆を深めるため、皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

☆今年も大盛況!公民館祭り

第37回南山田公民館祭りは、11月4日(日)南山田公民館にて開催しました。

秋晴れの暖かい日曜日で、沢山の皆様が来館くださいました。展示コーナーや遊休品販売、バザーなど、今年も来館者の皆様方には、楽しんで頂けたと思います。ご協力いただきました皆様方には、心より感謝申し上げます。

31年度も各団体・役員、皆様方のご協力を、お願い致します。

「小規模多機能自治と生涯学習」

南山田公民館長 朝日勝彦



私達の地域も人口の減少に転じて少子高齢化が進行し、地域社会の持続可能性そのものが大きな課題になっていきます。そして近年頻発する自然災害などにより、地域住民の絆がさらに重視されるようになってきました。

昨年11月東京で開催された全国公民館大会が日本青年会館で開催されました。全国から千二百人の関係者が参加され、池上彰先生の記念講演。『公民館は、どう「語られてきたのか」』についてパネルディスカッション、二日目は第71回優良公民館表彰式等が行われました。その1館として南山田公民館が選ばれ、文部科学大臣賞を受賞しました。これも日頃から地域の方たちによる公民館活動へのご理解と活動に多くの方たちの参加を頂いたからこそその受賞であります。受賞された中で5館のプレゼンテーションがあり内容は、5館とも高齢化が進んでいく中で公民館の事業運営に中学校の生徒をはじめ地域の青年会の方たちが公民館運営委員になり公民館の事業運営を

されている内容の発表でした。これからは、若い方達の参加を求めながら活性化を図っていかねればならない時代に入っていることを痛感しました。



さて南砺市は今年度から小規模多機能自治を導入されることになり、南山田地区も自治振興会において地域づくり検討会を設置し、その推進に取り組みされていきます。小規模ながらも、様々な機能を持った住民自治の仕組み

と言われ、地域の事は自ら考え、決定し、実行するとしております。このことで地域住民のアンケートが実施され、地域住民の日頃からの思いが多少なりともわかってきたと思います。地域の力は、関係の密度が作る人口密度より人の交わる密度だと思えます。

自治とは、『自分たちで決めて、自分たちで担はなければならぬ』ことでもあります。これからは公民館の組織や運営が変わるかもしれませんが、小規模多機能自治に於いても、公民館の使命や機能を引き継ぐ生涯学習の場を皆様と共に築いていきたいと思えます。

「新しい南山田地区の地域づくり」

南山田自治振興会会長 水口耐子



新年度を迎え、天皇の即位が5月に行われることにより、年号が変わることになりました。三十年という平成の時代を振り返り、まず安堵の思いがいたしますのは日本の永い歴史の中で、稀なる戦争がなかった時代であり、いわゆる平和な一時代でもありました。戦後生まれの私達は実に幸運な時代の中で生かされたといつても過言ではありません。

さて、平成の時代の大きな出来事といえますと、日本では消費税制度が3%からスタートして8%に、バブル全盛、そして崩壊、郵政民営化、オーム一連の事件、災害では、記憶に残り、甚大な被害を被った阪神淡路大震災、東日本大震災、その他、頻繁に発生した自然災害、地球温暖化による環境の変化を考えさせられる時代でもありました。また海外では世界を揺るがす大きな事件も数多く発生中国の天安門事件、多くの学生達が民主化を訴え、運動を行いました。たが一晚で政府に武力弾圧され、多くが殺戮されました。湾岸戦争、ニューヨークでの同時多発テロ、中東各地での長引くテロ事件、ア

メリカリーマンショックから始まった世界的不況、2017年にはアメリカ大統領にドナルド・トランプ氏が就任し、日本では安倍第2次内閣の長期政権が今に至っている。その他にも大きな出来事が色々ありましたが、世界中に平和が訪れるのはまだ先のようです。

南砺市も人口減少、少子高齢化、財政難からくる対策として、将来の地域の為、子供達の為に各分野での改革、活性化を模索しております。以前からの懸案事項だった南砺市庁舎問題も合併十六年目にして福光庁舎を南砺市庁舎として充実しつつも決定いたしました。

また、自治振興会では、新年度からの小規模多機能自治移行に向け、組織をスリム化しながらの部会組織住民中心の安全安心な自治を計画しており、また、若い人達に呼びかけ、自分達で子供達の将来について考え、計画し、魅力的な地域づくりを話し合う場を立ち上げてほしいと願っています。また婦人会組織衰退の傾向が見られますが、女性の価値観が時代の変化によって変わり、それに代わる女性の声を反映する場、意見を交わす場なども必要かと思っております。男性より大きく遅れている各界女性のリーダーの出現に向けて互いに切磋琢磨していただきたいと思えます。今後は全員参加の地域自治が必至であり、益々の皆さんのご協力をいただきながら進めていきたいと思っております。

生まれ来る子ども達のために

南砺市議会議員 川口正城



私は、市議会議員になりました。3年目に入りました。議員活動でさまざまな分野を勉強

して行く中で、昨年は自分自身が一番大切と思つて暮らしていけば、地球環境へのダメージは少なく出来るというエコピレッジ構想を勉強して議会でも質問しました。ご

みを沢山出して資源を無駄に使い、それを焼却するのに化石燃料を使つて二酸化炭素を排出して地球環境を汚染するという悪循環を、毎日意識して生活するのは結構難しいことと思います。又、最近捨

てられて海に流れ込んだプラスチック製品が次第にマイクロチップ化して魚が食べて体内に溜まって、それを食べた人間が病気になる事も将来ありうると言われています。今年、「すべての営みは生まれ

来ると子ども達のために有る」という考えを、議員活動や日常の場面の中心においてみようかなと思つています。それは、少子化に歯止めをかけ、ウターンに繋がるという思いからでも有ります。国や県や市の予算の内訳を見て強くそう

思います。生まれ来て成長するまでにこそ十分な予算を掛けたいのにも思っています。行政の予算ばかりでなく、市民のお金の使い方も見直す必要が有ると思います。健康寿命の延伸が言われていますが、それは高齢者の為でも有りませんが、そのことで医療費が減れば

子育てや、教育、インフラ整備にお金が回せるという事でも有るのです。エコな生活と同様に、生まれ来る子ども達の為にどういう生活すれば良いかという事はなかなか馴染がなく、簡単にはできません。と思われ



住民アンケート各地区回答結果

	配布	有効	無効
北陸病院	18	18	0
信末	181	164	17
是安	223	210	13
末広町	179	179	8
栄町	124	124	0
野田	348	347	1
金戸	407	380	27
国広	64	64	0
千福	146	134	12
野口	78	74	4
塔尾	78	75	3
上見	71	67	4
上原	23	23	0
西原	34	34	0
南原	26	26	0
京塚	22	21	1
大窪	134	134	0
細木	119	119	0
合計	2,275	2,185	90

南山田地区には住民の底力がある

区長会長 水上和夫



今年、平成が終わり、新しい元号が始まりました。南砺市では四月から小規模多機能自治による新しい体制がスタートします。南山田地区はその先頭を走っていると言われて

います。新しい体制への準備が順調に進んだのは、南山田の住民の皆さんの協力そして底力のお陰だと思つています。南山田地区の底力が遺憾なく発揮されたのが、昨年八月の南山田地区(中学校以上全住民対象)住民アンケートです。このアンケートでは、二二七五枚を配布し、そのうち二一八五枚の回答を得ました。回収率は九六%です。多くの皆さんがアンケートに協力してくださ

いました。思いを込めて、新しい体制を支えたいと思つています。

アンケートを実施して、ほとんどのアンケートを回収できたのは住民の皆さんの理解と協力があつたからです。さらに忘れてならないのは、それぞれの地区の区長さんが一生懸命に動いてくださったお陰だと思つています。このように私達の南山田地区には住民の底力があ



みんなの公民館

南山田婦人会 会長 前川 寿英



公民館は毎月の定例会をはじめとした私たちの活動の拠点です。その公民館において

多くの行事・会合を運営されている朝日館長、杉本さん、大井さんはいつも南山田の皆さんのことを考え活動されているのだと感じます。昨年十一月に優良公民館文部科学大臣表彰を受けたのも熱心な活動が評価されている受賞、おめでとございます。

婦人会の活動としては敬老会の余興でのハンドベル演奏や皆さんに参加していただいた「きときと体操」公民館で手の動きを合わせたり隊形移動の練習を重ねた「ほつとあつと体操」本番では元氣よく笑顔で踊ることができました。むぎや祭パレードではゆかたの着付けを公民館でしていただきお祭りを満喫しました。

また、小さなお子さんからお寄りまでたくさんの方々とふれあうことができ、嬉しく思います。

この一年間で婦人会として多くの行事に参加し、公民館は「人と人との繋がりがりや集うこと」の楽しさを教えてくれる場所だと感じました。今後は婦人会活動も超えて公民館での人との繋がりがりや、より一層の盛り上がることを願っています。

この一年間で婦人会として多くの行事に参加し、公民館は「人と人との繋がりがりや集うこと」の楽しさを教えてくれる場所だと感じました。今後は婦人会活動も超えて公民館での人との繋がりがりや、より一層の盛り上がることを願っています。



女性部らしい活動を...

JAなんと女性部 南山田支部長 細川 一美



日頃、JAなんと女性部活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。

今年度は日本中で多くの災害がありました。JA女性部では、九月の定例会で家の光の記事【最強の防災術】を使って、防災教室を行いました。丈夫なロープの「アウトドアコード」で作るカラフルなブレスレット作り。悪戦苦闘しましたが、カラフルなブレスレットを作ることができました。普段から身に付けて、万が一のときにほどけば、応急手当や荷物の固定などに使える優れモノです。さらに、留め具はホイッスルになつているので、助けを呼ぶこともできるのです。

夏には、JA全中が「JA健康寿命100歳プロジェクト」の一環として進めている【乳和食】に注目し、健康志向を目指した料理教室を開催しました。和食に欠かせない味噌や醤油などの調味料と牛乳を組み合わせて作る減塩料理です。牛乳が持つコクやうまみを和食に使用することで、食塩やだしを減らすことも味の薄さを感じさせないのです。参加者は、思いつかないメニューにびっくりされていました。嬉

しい感想が頂けました。

冬には、かぶらずし講習会を行いました。かぶらを塩漬後に、エコーブマーク品の「米こうじ」を使って自分で甘酒作り。甘麹たつぷり



のかぶらずしが完成しました。意外に簡単に作れることを知り、また自分で作ってみようと思った！と嬉しい声が届きました。

公民館を拠点に、地域の皆さんや部員同士の繋がりを深め、食の安心・安全を推進し、地域の食文化を学び伝え、楽しく明るいJA女性部活動に、今後も取り組んでいきたいと思っております。



『30年を振り返り雑感』

南山田老人クラブ
会長 池田俊昭



昨年4月から信末(貴寿会)老人会長を仰せつかり、

老人会長を拝命され、城端地区最大の組織に戸惑いを覚えました。4月から、城端老人連合事業、公民館事業及び各種団体事業に積極的に参加致しました。

5月〜2月にかけて、女性部による高齢者訪問支援を、計画実施。5月〜11月の間毎月1日、ふるさと美化運動を実施。単体クラブ皆様方にご協力して頂き、有難うございました。

6月には、高齢者体験型交通安全講習会にも多数の方に参加頂き、交通安全に対する研鑽を積んで頂きました。

9月には、城老連から、高齢者健康バス教室に2年連続参加させて頂き、体力が前年より落ちていくことが解りました。



10月、城老連スポーツ大会では、南山田上口優勝!という栄を戴きました。彩葉祭り遊休品即売にもご協力頂き、誠に有難うございました。



さて、31年4月より実施が予定されている、自治振興会の事業計画に於いて、7月に南山田地区の組織図が示され、老人会組織として如何なる方向で取り組むのか、大変不安でした。8月には住民アンケートが実施され、10月結果報告があり、回収率96%、回答者のうち51%が60才以上という事で、老人会の今後の関わりが、大変重要という事を強く感じました。小規模多機能自治事業が、徐々にではあります、移行展開されるという事で、今後、地域住民に如何に理解・浸透していくかが問題視されます。



チャレンジ!

南山田スポーツ振興会
会長 山本和樹



南山田スポーツ振興会の会長の山本です。今年度の活動はして

ない状態です。夏のキャンプについては、募集したところ参加人数が少なく中止しました。

この後は、2月には桜ヶ池の急な斜面を利用して、ビニール袋を敷いて滑るスノースライダーを行う予定ですが、暖冬だと言われているので、積雪状態が心配です。冬に思いつき体を動かしてみたい方ぜひご参加ください。ドキするような体験でとっても気分がリフレッシュしますよ。



さて、今年度から地域の仕組みも再編され、小さいお子様からお年寄りまで楽しめる企画が必要となるようなので、エアボールなどのニユースポーツにも挑戦したいと思えます。来年度もスポーツ振興会の活動にぜひご参加してください。ご参加して下さるようお願い申し上げます。



(現在のメンバーは左記の通りです。協力頂ける方は、ぜひご連絡を)

相談役	水口耐子	委員	山本一信
委員	朝日勝彦	委員	野村リシアル
委員長	山本和樹	委員	山下真人
委員	中野哲雄	委員	嶋田裕樹
委員	宮塚 功	委員	勇崎 翔
委員	林 幸則	委員	大井幸子
委員	寺脇克彦	委員	杉本澄子

『事故減少を願って』

南砺市交通安全協会城端地域支部
南山田地区支部長



山下 博

当南山田地区支部では26名の支部役員の方のご協力により毎年の活動をしております。

年間の主な活動のご紹介を致します。

春と秋の全国交通安全運動期間中は、管内主要交差点(4箇所)にて役員による街頭指導、交通安全のほり旗の掲出、城端駅前での交通安全キャンペーンなどを行っています。

夏の交通安全県民運動期間中は、城端地域全体の活動として運転者講習会や城端ひまわりフェスティバルの運営協力等を行っています。また、各区長、地区役員方のご協力により納入いただいた車両割賛助金を南砺市交通安全協会本部へ納入しており、その賛助金の一部は支部活動支援費として各地区へ還元しています。

平成30年を振り返ってみますと

不幸なことに南砺市において5件の死亡事故が発生しています。一層交通安全啓蒙活動等に取り組んでいきたいと思っておりますので皆様のご協力をお願いします。

また、平成30年より南山田地区支部長を前任者より引き継ぎましたが、不慣れにて皆様に協会本部より伝える事等すべて伝わらず、各区長、支部役員の皆様にご迷惑かけた事、ここに謝罪いたします。最後に、平成31年度南砺市交通安全協会年間スローガン最優秀作品に選ばれた4作品をご紹介します。

小学生の部

「ちいさなて あげてわたるよ
よくみてね」

中学生の部

「交差点 おしぎで生まれる
笑顔の輪」

一般の部

「自主返納 決めたじいちゃん
かっこいい!」

高齢者の部

「高齢者 無事故と笑顔で
自主返納」

小規模多機能自治への対応

南山田地区防犯組合

組合長 八畑豊四郎



南砺市では新年度から各自治振興会に対して小規模多機能自治の導入を求めています。

南山田地区では自治振、公民館、地区社協を一本化した組織(南山田地域づくり協議会)を開設し、それを軸に4つの部会を設置する計画で進行しています。

そのひとつの安全・防災部会は地区の安全安心の確保を目的に活動する交通安全、防犯、消防といった各組織の集合体として運営がより効果的に機能するようにと設けられた部会で、当防犯組合はこの部会に所属することになります。南山田自治振興会が先に実施しました住民アンケートの集計結果を見ても防犯や見守り隊の対策や自主防災などの災害時の対策に対して皆さんの関心の高さが感じ取られました。

南山田防犯組合では従来からの取り組みとして毎月20日の防犯の

日に青バト車での巡回防犯パトロールの実施や空き巣や自転車の盗難、車上荒しの被害にあわないように力ギかけの習慣を呼びかけるキャンペーン活動、そして今年計画しています防犯標語の募集と優秀作を防犯広告塔への記載する事業など、これらの従来の活動を維持しながら、安全・防災部会の各組織と協力しながら更に皆さんの期待に応えるように地域の安全安心のできる環境づくりに貢献したいと思っております。

非常時に対する備えは、平時からと申します。犯罪に巻き込まれることも、自然災害に見舞われることも、また事故にあうことも、ある日突然何が襲ってくるか分からない不安な日々に対処するにはこれらに対する備えを普段から意識している必要があると思います。

その意識づけのきっかけを今後にも提案していきたいと思っております。



地域活動 (南山田フェスティバル)

今年も各フェス沢山の参加に感謝です



南山田フェスI (ウォーキング大会)

南山田フェスII (そば打ち体験教室) 人数不足の為中止



中田氏 解説



南山田フェスIII (防犯講座&体操&ショー他)



城端交番所長



その他事業

南山田バスツアー



ひまわりフェス



マジックショー



新春年賀の会



文部大臣表彰受賞

第71回優良公民館表彰式
平成30年11月27日
文部大臣表彰
南山田公民館



わんぱく塾 (子供休日活動)



クリスマスリース作り



ガーデニング教室



写生教室



食改料理教室



五館合同事業
人形劇 ふーぽ



マナー教室



さくらんぼ教室



三世代カローリング大会

南山田地区社会福祉協議会

副会長 松田 良信



これは、平成30年度から開始されました、南砺市社会福祉協議会の第三次南砺市地域福祉活動五年計画のローガンです。

「やさしいまち」という言葉の響きは、とても素敵ですがいろいろな意味が含まれています。安心・安全・助け合える地域・何より、みんながここに住んでいて良かったと心から思えるような地域を目指すために、様々な活動を南山田地区社会福祉協議会でも取り組んでいます。昨年の住民アンケート調査では、地区の皆様のいろいろな意見をいただきました。アンケート内容では、南山田を誇りに思う方や安心して住むために、何か手をつつていきたいと思うかという問いに、半数以上の方のYESという答えをいただきました。ほかにも地域への「おもい」が集約されていました。4月からは、南砺市の小規模多機能自治体制がいよいよスタートします。アンケートによられたご意見も参考にしながら、住民主体のまちづくりを目指しての新体制となります。

【平成30年度の主な社会福祉協議会事業】	
4月	寿入浴券配布(南砺市事業) 南山田社会福祉協 総会
7月	城端地域敬老会(じょうはな座)
11月	おはぎ配食サービス 高齢者交流会(和倉温泉「寿苑」)
12月	歳末たすけあい友愛事業(市社協)
年5回	65歳以上一人暮らし友愛訪問事業
自主開催	ふれあいいきいきサロン(11地区)

りますがこの中で地区社協が担う役割はますます重要になってきます。南山田をどこよりもやさしい地域にしたい」という熱い思いを形にしています。

くためにも、地域の皆様方やそれをサポートしていただきます。少子高齢化が進む時代の真つた中、決して他人事ではありません。皆様も「やさしい地域づくり」について、どんなに小さなことでも構いません。思いついたら、できることから始めてみませんか？ 相談できる場所もありますよ。

みんなで語ろう会(小規模多機能研修会)

◆4月7日、6月16日、10月27日



南山田地区社会福祉協議会30年度総会

◆4月26日、南山田地区公民館にて

南砺市社協から来賓を迎え、地区振興会代表・民生児童委員・地域福祉推進員・地域福祉サポーター等の委員の出席を頂き、29年度事業報告・収支決算報告及び、平成30年度事業計画(案)・事業収支予算(案)が提出され、全ての案件が承認されました。

城端地域敬老会

◆7月7日、じょうはな座にて開催

午前中は、城端・大鑑屋・養谷地区が午後には、南山田・北野地区が合同で、多くの高齢者の参加を得て、米寿者の表彰式・保育園児の遊戯や、各婦人会による熱のこもった演技を披露し、楽しいひと時を過ごされました。

ひとり暮らし高齢者交流会

◆10月10日、和倉温泉「宿守屋 寿苑」にて

ひとり暮らし高齢者交流会(日帰り温泉の旅)が、38名参加頂き、バスにてセブシ駐車場を出発。今月初めて和倉温泉を選び、能越道の途中、「花嫁のれん館」に立ち寄り、和倉温泉「宿守屋 寿苑」では温泉入浴後の宴会では、皆で仮装しながらカラオケ競演、笑い声が絶え間なく、時間の経つのも忘れ、楽しいひと時を過ごし、帰路「竹内みそまんじゅう店」でお土産を買って無事家に到着。



ふれあいいきいきサロン 11地区の皆さんが自主開催し、活発に活動されています。



一人暮らし高齢者友愛訪問事業(安否確認)

ふれあい訪問(おはぎの配食)事業 南山田地区社協役員が出来立てのおはぎを地区別に仕分けし、80歳以上の高齢者世帯や70歳以上のひとり暮らしの方々におはぎを持って訪問。直接本人にお会いし、近況や、健康状況調査など、つかの間の交流を図りました。



【対象者】148名(80歳以上70名 70歳以上78名)
【実施日】11月23日【実施役員】22名

お気軽にご相談ください

◆民生委員・児童委員

(平成28年12月1日付 任期3年)
池田進(信末・是安・北陸病院)山下憲治(末広町・栄町)松永外志子(野田)館田康弘(金戸・国広・京塚)中井芳枝(千福・野口・西原)池田又次郎(塔尾・上見・上原・南原)細川哲(大窪・細木)

◆地域福祉推進員

(平成29年4月1日付 任期2年)
木津幸夫・中谷富夫(信末)、山下誠信・伊東敏雄(是安)、山下留美子・松井節子(末広町)、松田純子(栄町)、勇崎寛・塚本康子(野田)、東頭久美子・朝日喜代美(金戸)、林加代子(国広)、境富廣(京塚)、松島俊夫(千福)、家本恵子(野口)、水上克美(西原)、水本恵子(塔尾)、木村京子(上見)、大浦正俊(上原)、小林由美子(南原)、矢倉厚子(大窪)、荒木敏夫(細木)

◆ヘルスポランテア

(平成30年4月1日付 任期2年)
水上美智子・牧野茂子・来栖多津子・竹山春枝・南好子・長房礼子・田嶋龍子

◆食生活改善推進委員

(平成30年4月1日付 任期2年)
水上麗子・石村邦子・安川純子・福島園子・川崎純子・牧野茂子・新鍋里都子・樋口ますみ・岩崎ショウコ・石村洋子

民生委員・児童委員と高齢福祉推進員は自治会と連携して、地域の身近な相談相手となり、また、関係機関とのパイプ役として、誰もが安心して生活できる地域づくりのために、皆さんの暮らしを支援します。

上見

上見地区の状況

上見地区は南山田の最も南に位置する集落で、江戸時代には四十五軒、二百数十人の住人がいましたが、現在は戸数二十七軒、住人九十人余りが生活する集落です。

上見の歴史

上見の地名の初現は南北朝時代、興国二年(一二四一年)の南朝の論旨であります。延元三年(一二三八年)、新田義貞が越前金ヶ崎で挙兵した際、越後の新田党が援軍として赴く途中、越中新川で北朝側の守護井上俊清を打ち破りました。この新田勢に滝口蔵人がおり、上津見を安堵されました。

報土寺

真宗大谷派の是谷山報土寺は、もと新湊市三日曾根にありましたが、現木村宣彰住職の曾祖父誠純の時代に上見に移転しました。その後、木村喜久、辰雄が住職を受け継ぎました。永禄三年(一五六〇年)一月に浄西坊によって開基された寺院です。なお現在の本堂は昭和三十七年に建立されました。



神社

上見地区のほぼ中心にあり、年6回の祭礼があります。春祭りには獅子舞が披露されます。



上見城跡

上見城は天正年間(一五七三〜一五九一年)に篠村太左衛門が居城したとされています。現地には古井戸と土塁が遺り、当時の面影を偲ばせています。



奇祭石割(いしかち)

旧当地区では昔から結婚式後、当家の庭に石を積み上げ、上部に平石を置き、長老の口上後、若衆が一斉に石を投げ平石を割る風習があり、現在も受け継がれています。



(次号 上原地区)

公民館趣味の教室紹介

日本画彩好会

小原 好博

今年発足11年目に入り、画歴30年以上のベテランから、入会2年目の新人まで、現在12名が、月2回の教室に通っています。

何事も基本が重要な事から、最初の1年半ほどは、細密写生から始め、デッサン力を養います。

それが後に、骨格のしっかりとした幅広い表現につながります。

小品から、100号の大作まで、風景・花鳥・人物など、様々なモチーフに取り組んでおり、各自の個性をうまく伸ばすことを心掛けてアドバイスをしております。

県展や市展などの公募展にも積極的に挑戦し、近年は大賞はじめ、すべての賞を受賞しております。

教室風景



—いつでも、だれでも、大歓迎します—

昨年の県展日本画部門の入選者は、54名でしたが、彩好会からは応募者全員の8名が入賞・入選を果たし、益々意欲的であります。また、みんなで美術館などに出かけ、展覧会を鑑賞する事もあります。昨年、滋賀県の佐川美術館にも足を運びました。今は、6月開催の県展・となみ野美術展に向けて、大作を制作中です。お互いの作品が良い刺激となり、和気あいあいとした雰囲気制作に励んでおります。

編集後記

今年も編集委員各位のご協力のもと、30年度南山田公民館だよりをお届けいたします。

各団体の事業内容や活動報告など、一年間頑張られた成果をご報告致します。

それぞれの活動内容は、紙面には収まりきれませんが、少しでもお伝え出来れば嬉しく思います。

だより会議風景



公民館では毎月、薄黄色紙の「みなみやまだ公民館だより」を発行し、公民館行事の予定や報告をのせております。

このだよりは、全戸配布しており、地区民の皆様もご覧になっておられる事と存じます。

毎月の公民館だより

シンボルカラーは薄黄色



公民館は、南山田地区の活性化を目指し、役員各位のご協力のもとこれからも頑張ります。

皆様のお声を大切にし、ご意見を参考にしながら、31年度もますます活力ある南山田公民館になるよう、日々邁進する所存です。

地域の皆様方の温かいご支援、ご参加を心よりお願い申し上げます。(S・S)

